

プレゼンテーション法 (2単位)

佐藤孝吉・中村幸人・武生雅明・福永健司・橘隆一・上原 巖・菅原 泉・田中恵・今富裕
 担当者氏名 樹・矢部和弘・小林 純・大林宏也・江口文陽・瀬山智子・宮林茂幸・関岡東生・矢口行雄・
 本橋慶一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

指導教員による指導内容および指導に要した時間数の記録を行い、研究発表(オーラルもしくはポスター)の方法を習熟する。所定時間、あるいは所定枠内に簡潔にまとめる能力、理解されやすい発表の組み立て方、図・表のわかりやすい表示の仕方を十分に習熟し、聴衆に理解してもらえるようにする。本人による研究発表が目標となるが、年に一度の専攻内での中間発表会もそのステップのひとつとなる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

要旨作成 パワーポイント ポスター作成 口頭発表
 英語による発表

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習 (予習復習) 等の内容と分量
1	ガイダンス (第 1 週)	講義内容の説明	
2	講演要旨作成法 (第 2 週)	簡潔明瞭な要旨の作成 分かりやすい図表作成	
3	図表の作成法 (第 3 週)	パワーポイントの使用を習熟する	
4	パワーポイント利用法 (第 4 週)	理解されやすい口頭発表原稿やポスター原稿の作成	パワーポイントソフトの入ったパソコンを準備する
5. 6	発表原稿の作成法 (第 5, 6 週)	今までの基礎知識を元に中間発表原稿と要旨を作成する	大型印刷イメージプログラムの使い方
7. 9	の作成 (第 7~9 週)	発表と質疑応答の仕方を学ぶ	
10	発表練習 (第 10 週)	修士論文に関する中間の発表を行う	
11. 12	中間発表会 (第 11, 12 週)	発表した内容について問題の整理	
13	中間発表の問題整理 (第 13 週)	発表に向けた要旨, 原稿を作成し, 発表練習を行い, 学会などで発表する	
14. 15	学会等への発表 (第 14, 15 週)		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)
 担当教員より事前に周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)
 担当教員より事前に周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

発表手法の習得状況 (30 点), 中間発表の内容 (50 点)、学外での発表 (20 点) で評価する。

◆オフィスアワー

担当教員より事前に周知する

◆その他受講上の注意事項

学内の中間発表会の結果を踏まえて、学会など学外での発表を準備すること。
